

# レジリエント部門

## 三位一体！広がる浸水対策の輪

岡山県岡山市

### 市が主体となって推進

①河川・下水道の整備推進



河川・下水道

河川・下水道の排水能力向上

②小学校へ雨水貯留タンクを設置し、それを機に出前授業による啓発を実施



学校・下水道

雨水の流出量を軽減 浸水害に対する意識向上

### 多様な部局が連携して対策を実施

③市有施設の整備と合せた雨水流出抑制



公園・道路など

雨水の流出量を軽減

④用水路を活用した貯留



農林

用水路水位の事前調整  
ピークカットの効果

啓発活動を実施  
自助共助を促進

流出抑制などの  
浸水対策へ協力

### 市民が主体となって実施

①戸別貯留タンクの設置



購入費用の一部を市が助成  
雨水の流出量を軽減

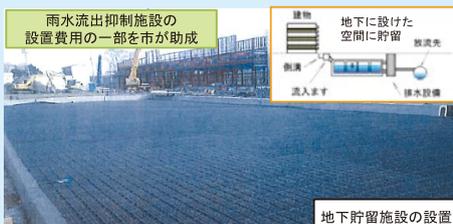
②大雨への備え(土のう作成)



資材や会場を市が提供  
自助・共助の意識向上

### 事業者が主体となって実施

開発行為等における雨水流出抑制施設の設置



雨水の流出量を軽減



### PRポイント！

市・市民・事業者が連携して浸水対策に取り組む「岡山市浸水対策の推進に関する条例」を施行しました。条例に基づき、従来の行政によるハード対策だけでなく、**市民・事業者による雨水流出抑制施設の設置や自主防災組織の活性化**など、多様な浸水対策が着実に進み始め、各々の取り組みが相互に影響を及ぼし、施策の趣旨に賛同した**企業が小学校へ雨水貯留タンクを寄贈**するなど、浸水対策に向けた各々の意識の向上につながっています。

### 取組の効果！

従来は河川・下水道部局によるハード対策だけでしたが、台風接近時等に農業関係者協力のもと、街中の用水路の水位調整や、市有施設の整備や建替え時に流出抑制対策を行うようになりました。こういった対策が実施できた地区では、各地に甚大な被害をもたらした**平成30年7月豪雨時にも被害を大幅に軽減**することができました。**戸別貯留タンクの設置助成は1年間で166件に達し**、市民の浸水害に対する意識の向上も図られています。

### Key Person



岡山大学大学院  
環境生命科学研究所  
教授 西山 哲

岡山市浸水対策推進協議会の会長を務めさせていただきました。協議会では「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づき、「岡山市浸水対策基本計画2017」の策定に向けて、多様な分野の専門家にお集まりいただき、数多くの議論を重ねました。

条例のコンセプトである「市・市民・事業者が連携して浸水対策に取り組む」を実現するために、市民の方々がご覧になってわかりやすいビジュアルな基本計画とするように努め、策定後の広報のあり方についても議論を交わしました。

その結果、平成30年7月豪雨による被害を軽減できたのは大変うれしいことです。一方、被害が発生した地区もあることから、市・市民・事業者が連携した浸水対策のさらなる浸透に努めていきたいと思います。